

令和3年度
事業報告

社会福祉法人 奈良県社会福祉事業団

目 次

1 総括	3
2 法人運営	3
3 奈良県障害者総合支援センターの運営状況	7
(1)わかくさ愛育園の状況	7
(2)自立訓練センターの状況	10
(3)社会就労センター(就労継続支援事業B型)の状況	13
(4)高次脳機能障害支援センターの状況	14
4 県営福祉パーク(介護実習・普及センター)の運営状況	17
5 職員の状況	19

令和3事業年度事業報告

1 総括

奈良県社会福祉事業団が、平成18年度から、奈良県の設置する障害者総合支援センター、県営福祉パーク及び福祉住宅体験館の指定管理業務を受託して以来、令和3年度は4期目になります。

当事業団では、奈良県総合リハビリテーションセンターと緊密に連携して、障害の程度が重い方や重症心身障害児(者)に対して、理学療法士などの専門職による福祉サービスを提供するとともに、近年増加している高次脳機能障害者や発達障害児を対象とした支援を進めています。

令和3年度も新型コロナウイルス感染症対策に翻弄されましたが、令和4年度から5年間の奈良県障害者総合支援センターの指定管理業務を受託し、新たに取組む事業の準備を進めています。

2 法人運営

(1) 会議等

ア 理事会

開催回数	年月日	場所	出席者	議題等
第1回	令和3年 5月25日 (みなし決議日)	定款第31条第2項の規定に基づく書面決議	理事6名 監事2名	1 議決案件 (1) 令和2年度事業報告について (2) 令和2年度財務報告について (3) 承認社会福祉充実計画の変更について (4) 理事及び監事選任候補者の推薦について (5) 評議員選任候補者の推薦について (6) 令和3年度第1回定時評議員会の招集について
第2回	令和3年 6月21日	奈良県総合リハビリテーションセンター	理事6名 監事2名	1 議決案件 (1) 理事長、副理事長、常務理事の選定について (2) 社会福祉法人奈良県社会福祉事業団就業規程の一部改正について (3) 評議員の退任に伴う補欠の評議員選任候補者の推薦について
第3回	令和3年 8月20日	定款第31条第2項の規定に基づく書面決議	理事6名 監事2名	1 議決案件 (1) 評議員選任候補者の推薦について

第4回	令和3年 11月10日	奈良県総合 リハビリテー ションセンタ ー	理事5名 監事1名	1 議決案件 (1)社会福祉充実計画の変更について (2)社会福祉充実計画の変更にかかる評議員 会決議について
第5回	令和4年 3月28日	奈良県総合 リハビリテー ションセンタ ー	理事5名 監事2名	1 議決案件 (1)社会福祉法人奈良県社会福祉事業団定款 の一部変更について (2)令和3年度資金収支補正予算について (3)令和4年度事業計画及び資金収支予算に ついて (4)令和3年度第3回評議員会の招集について

イ 評議員会

開催回数	年月日	場所	出席者	議題等
第1回	令和3年 6月9日	奈良県 文化会館	評議員 6名 理事3名 監事2名	1 議決案件 (1)令和2年度貸借対照表、収支計算書及び 財産目録の承認について (2)承認社会福祉充実計画の変更について (3)理事、監事の選任について
第2回	令和3年 11月22日	定款第15 条第4項の 規定に基づ く書面決議	評議員 8名 監事2名	1 議決案件 (1)承認社会福祉充実計画の変更について
第3回	令和4年 3月29日	奈良県 文化会館	評議員 6名 理事3名 監事1名	1 議決案件 (1)社会福祉法人奈良県社会福祉事業団定款 の一部変更について

ウ 評議員選任・解任委員会

開催回数	年月日	場所	出席者	議題等
第1回	令和3年 5月25日	奈良県総合 リハビリテー ションセンタ ー	委員3名	1 議決案件 (1) 辞退に伴う評議員の選任について (2) 任期満了に伴う評議員の選任について
第2回	令和3年 8月23日	奈良県社会 福祉総合セ ンター	委員3名	1 議決案件 (1) 辞退に伴う評議員の選任について

エ 奈良県介護実習・普及センター運営委員会

開催回数	年月日	場所	出席者	議題等
第1回	令和4年 3月22日	奈良県介護 実習・普及 センター	委員	新型コロナウイルス感染防止のため、書面により 意見聴取

オ 施設部経営管理改善委員会

開催回数	年月日	場所	出席者	議題等
第1回 ～ 第12回	令和3年 4月14日 ～ 令和4年 3月14日	奈良県総合 リハビリテー ションセンタ ー	所 長 副 所 長 事務部長・参事 施設部長・次長 リハビリセンター 看護部長、医事 課長	(1) 施設部の経営状況について (2) 当面の経営改善について (3) その他

カ 奈良県障害者総合支援センター、県営福祉パーク及び福祉住宅体験館の指定管理連絡会議

開催回数	年月日	場所	出席者	議題等
第1回	令和3年 5月26日	奈良県障害者総合支援センター	ファシリティマネジメント室2名 障害福祉課1名	1 令和2年度事業報告及び決算状況について 2 重点取組事項について
第2回	令和4年 2月3日	奈良県障害者総合支援センター	ファシリティマネジメント室2名 障害福祉課1名	1 令和3年度上半期の利用実績について 2 重点取組事項について

(2) 広報事業

名称	発行時期等
ア ホームページ	随時更新
イ 利用者満足度調査 ・わかき愛育園 ・自立訓練センター ・社会就労センター ・県営福祉パーク	令和4年2月14日～2月24日 令和4年2月14日～3月4日 令和4年2月15日～2月25日 見学者及び研修講座の都度

(3) 監査

ア 監事監査

年月日	場所	監査事項
令和3年5月17日	奈良県障害者総合支援センター	1 令和2年度の業務執行状況について 2 令和2年度の財務状況について

3 奈良県障害者総合支援センターの運営状況

(1) わかくさ愛育園の状況

わかくさ愛育園は、児童福祉法に基づく「児童発達支援センター」として、親子間の心の絆をつくり、子どもの心を安定させることに留意しながら児童個々の必要に応じた機能回復訓練、感覚運動学習を含む基礎保育を展開し、日常生活における基本的な動作や知識技能の獲得、集団生活への適応の取り組みを進め、各児童の成長・発達を支援しました。

重症心身障害児(者)関係では、療育的な関わりに加え、生活経験を豊かにすることを目標に、スポーツレクリエーション、季節の行事、音楽などの活動や入浴サービス等生活介護を提供した。

また、障害児相談支援事業では、障害のある子どもたちとその保護者からの相談に応じ、抱える課題の解決や適切な障害福祉サービス等の利用に向けて、情報の提供及び助言を行い、併せて市町村及び障害福祉サービス事業者等との連絡調整を図るなど総合的な支援を行いました。

ア 通園児(者)入退所状況

(単位:人)

令和3年度

○ 通園児(者)入退所状況

R4.3.31

入退状況 施設別	定員	一日あたり利用者数	在籍児数					退所児童数	左の内訳					3/31在籍児(者)数	
			前年度引継	本年度			計		養護学校	小学校	幼稚園・保育所 並行通園の利用		他施設		家庭等
				新規	か並行通園へ 通園毎日	から並行通園へ 毎日通園					無	有			
医療型児童発達支援セン	70	8.1	7	6			13	6	1		2	1	2		7
児童発達支援センター(知)	30	27.3	50	16			66	35	10	13	5	5	2		31
毎日通園			26	内並行へ7	7	4	30	13	5	1	2	5			17
並行通園、週1			24	内毎日へ4	9		36	22	5	12	3		2		14
保育所等訪問支援			0	0			0	0							0
児童発達支援センター(重)	15	3.8	10	5			15	5	2				3		10
生活介護		3.2	16				16	1					1		15
計	115	42.4	83	27			110	47	13	13	7	6	8	0	63
令和2年度	115		84	32			116	33	6	13	9		4	1	83

イ 通園児(者)疾患別・年齢別状況

(単位:人)

区分 疾患別 年齢別	医療型児童発達支援センター						児童発達支援センター(知的) 保育所等訪問支援					児童発達支援センター(重心児)・ 生活介護					合計		
	脳性まひ	脳原性発達障害	筋障害	染色体異常	その他	計	知的遅れなし	知的遅れあり				計	脳性まひ	脳原性発達障害	筋障害	染色体異常		その他	計
								発達障害	染色体異常	病理的原因あり	その他								
1歳						0					0						0	0	
2歳				1	2	3		2			2		3		2		5	10	
3歳				1	2	3		11	1		12	3					3	18	
4歳				2		2		10	1		11					2	2	15	
5歳		1			1	2		14	2	1	17				2		2	21	
6歳				1		1	2	20			22					3	3	26	
小計	0	1	0	5	5	11	2	57	0	4	1	64	3	3	0	4	5	15	90
18~19歳													1				1	1	
20~29歳													1			6	7	7	
30~39歳													1			6	7	7	
40歳以上																			
小計													3			12	15	15	
計	0	1	0	5	5	11	2	57	0	4	1	64	6	3	0	4	17	30	105
R2	0	7	0	3	2	12	2	64	0	2	2	70	9	1	0	2	21	33	115

(注)知的遅れなし:発達障害ほか/発達障害:自閉傾向のある者を含む/染色体異常:ダウン症ほか

ウ 障害児相談支援事業の状況

(単位:件)

区分	支援計画作成件数	モニタリング実施件数	サービス提供時 モニタリング件数
令和3年度	21	25	37
令和2年度	42	46	39

エ 発達障害児医学的療育支援事業の状況

○ 子ども地域支援事業

発達障害あるいは発達障害の疑いのある子どもが、地域社会の中で生き生きとした生活を送るために、保育園や幼稚園に作業療法士が出向き、感覚統合療法等を用いた専門的な支援を行うことを目的とした訪問事業及び研修会講師派遣事業を実施しました。

訪問事業・研修会講師派遣事業

(単位:件、人)

区 分	施設訪問事業		研修会講師派遣事業	
	件 数	相談児童数	件 数	研修会参加者
令和3年度	293	1, 271	13	450
令和2年度	279	1, 265	13	442

訪問事業の訪問先

(単位:件、人)

区 分	件 数	相談児童数
幼稚園	76件	410人
幼児園・子ども園	37件	208人
保育所(園)	83件	424人
学童保育所	23件	188人
療育教室、施設	11件	51人
放課後等デイサービス	32件	156人
小学校	41件	176人
特別支援学校	2件	8人
その他	1件	100人
計	306件	1, 721人

○ 基礎研修会の開催

「子どもの行動理解と支援 ～作業療法・感覚統合の視点から～」

開催日 令和3年7月31日、令和3年11月27日

対 象 保育士、教員、児童指導員等

参加者 7月31日 64名(保育園、こども園、小学校、デイサービス等)

11月27日 31名(保育園、こども園、小学校、デイサービス等)

(参加者へのアンケート結果) とても役に立った71名

役に立った24名

あまり役立たない、役立たない 0名

(2) 自立訓練センターの状況

障害者総合支援法に基づく指定障害者支援施設として、自立訓練(機能訓練・生活訓練)及び施設入所支援を実施しました。

利用者が地域社会で自立した生活を営むことを目標に、訓練プログラム全体及び評価方法について見直しを進め、6月より新プログラムを開始しました。

プログラムの内容を利用者の障害特性や個々のニーズに即し細分化したことによって、利用者にも好評でより充実した訓練が実施されています。

訓練効果については今後検証していきます。

ア 日中活動サービス

○ 指定障害者支援施設の利用状況

(単位:人)

区分	利用契約 状況	定員	1日当たり 利用者数	実利用者数			契約 解除 数	左 の 内 訳				3/31 在籍 者数
				前年度 引継	本 年度	計		就職	他 施設	医療 機関	家庭 復帰	
自立訓練(機能)		45	22.8	35	15	50	21	1	5	1	14	29
自立訓練(生活)		30	14.4	33	12	45	13	2	3	0	8	32
計		75	37.2	68	27	95	34	3	8	1	22	61
令和2年度		75	38.6	72	38	110	42	4	18	3	17	68

○ 利用契約者の障害別状況

(単位:人)

区分	脳血管疾患	脳性麻痺	脊椎損傷	頭部損傷	その他	計
自立訓練(機能)	36	0	1	4	9	50
自立訓練(生活)	24	0	0	15	6	45
計	60	0	1	19	15	95
令和2年度	62	0	3	26	19	110

○ 利用契約者の年齢別状況

(単位:人)

区 分	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	計
自立訓練(機能)	1	4	4	7	17	16	1	50
自立訓練(生活)	0	7	2	10	11	12	3	45
計	1	11	6	17	28	28	4	95
令和2年度	1	11	7	14	35	38	4	110

イ 施設入所支援サービス

○ 指定障害者支援施設の利用状況

(単位:人)

利用契約 状況 区 分	定 員	1日当たり 利用者数	実利用者数			契 約 解 除 数	左 の 内 訳				3/31 在籍 者数
			前年度 引継	本 年 度	計		就 職	他施 設	医療 機関	家庭 復帰	
令和3年度	40	23.3	25	11	36	15	0	6	0	9	21
令和2年度	40	26.6	36	16	52	27	0	11	2	14	25

○ 利用契約者の障害別状況

(単位:人)

区 分	脳血管疾患	脳性麻痺	脊椎損傷	頭部損傷	その他	計
令和3年度	32	0	1	1	2	36
令和2年度	38	0	3	6	5	52

○ 利用契約者の年齢別状況

(単位:人)

区 分	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	計
令和3年度	0	1	1	8	13	12	1	36
令和2年度	0	2	3	9	18	19	1	52

ウ 短期入所支援サービス

○ 指定短期入所事業の利用状況

(単位:人・日)

区 分	利用者数	延べ利用日数
令和3年度	1	8
令和2年度	1	7

○ 利用契約者の障害別状況

(単位:人)

区 分	脳血管疾患	脳性麻痺	脊椎損傷	頭部損傷	その他	計
令和3年度	1	0	0	0	0	1
令和2年度	1	0	0	0	0	1

エ 計画相談事業

(単位:件)

区 分	利用計画作成件数	モニタリング実施件数
令和3年度	14	23
令和2年度	24	29

(3) 社会就労センター(就労継続支援事業B型)の状況

利用者の重度化・高齢化に対応して、その能力や特性に応じた支援方法を工夫し、適切な作業を提供した。また、令和4年度末の事業終了に伴う利用者の施設移行支援を行い、9名が他の就労継続支援事業所等へ移行した。

ア 利用状況

(単位:人)

利用契約 状況 区分	定員	1日当たり 利用者数	実利用者数			退 所 者 数	左 の 内 訳				3/31 在籍 者数
			前年度 引継	本 年 度	計		就 職	他 施 設	医 療 機 関	家 庭 復 帰	
令和3年度	30	18.6	30	0	30	9	0	7	0	2	21
令和2年度	30	23.8	32	2	34	4	0	2	0	2	30

イ 年齢別・原因疾病別状況

(単位:人)

疾病別\年齢別	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	計
脳性麻痺	0	0	0	0	0	0	0	0
脳血管障害	0	0	0	1	2	5	5	13
脊椎損傷	0	0	0	0	1	1	0	2
頭部損傷	0	0	0	3	2	0	0	5
知的障害	0	1	1	0	1	1	0	4
その他	0	0	0	0	3	2	1	6
計	0	1	1	4	9	9	6	30
令和2年度	0	2	0	10	12	8	2	34

ウ 工賃の状況

(単位:人、円)

区 分	延べ支払対象人員数	工賃支払額	1人当たり 月額平均工賃
令和3年度	307	3,174,788	10,341
令和2年度	368	3,658,832	9,942

(4) 高次脳機能障害支援センター運営事業の状況

高次脳機能障害者に対する支援を総合的に行う県の拠点として、本人等からの相談に応じ適切な指導又は助言を行うとともに、関係機関等との連携強化により、高次脳機能障害者に対する総合的な支援体制の整備を推進し、高次脳機能障害者及びその家族の福祉の向上を図った。

ア 個別相談事業、検査・診断事業

(単位:件)

区 分	延べ 相談件数	左 の う ち		診 断	神経心理学 検査
		来所相談	訪問相談		
令和3年度	2, 284	357	12	41	30
令和2年度	2, 522	405	5	61	49

イ 普及・啓発事業

開 催 日	内 容	参加人数
令和3年9月11日(土) ハイブリッド開催 オンライン(ZOOM形式) 会場:奈良県庁会議室	高次脳機能障害Web研修会 講義1 「高次脳機能障害～社会的行動障害の症状とその対応～」 京都光華女子大学医療福祉学科言語聴覚専攻 教授 京都大学医学部附属病院神経精神科 教授 上田敬太 講義2 「社会的行動障害から学ぶこと」 滋賀県高次脳機能障害支援センター 小西川 梨沙	64名 (オンライン 58名・ 会場6 名)
令和4年3月11日(金) オンライン(ZOOM形式)開催	高次脳機能障害事例検討会(奈良県内医療・福祉 機関職員対象) 講義 「高次脳機能障害者の支援制度」 奈良高次脳機能障害支援センター 支援コーディネーター 河地 睦美 事例検討 グループワーク(ZOOM ブレイクアウ トルーム利用)	17名
	参加者合計	81名

○高次脳機能障害支援センター委員会協力

開催日	内 容	参加人数
令和3年10月24日(日) 13:00～16:00 ミグランス4階コンベンションルーム ハイブリッド方式	奈良高次脳機能障害リハビリテーション講習会 第1部「就労支援のミスマッチ、当事者の『できるとできない』のリアル」 当事者・ルポライター 鈴木 大介 第2部「病棟ではみえない当事者の困難さ」 Re. ジョブ代表理事（言語聴覚士）西村 紀子 第3部 対談 鈴木 大介、西村 紀子 (座長 高次脳機能障害支援センター 河地 睦美)	87名 (会場17名・ オンライン70名)
参加者合計		87名

○講師派遣・コンサルテーション事業

開催日	内 容	参加人数
令和3年12月7日(木) 10:00～12:45 学校法人 青丹学園 関西学研医療福祉学院	<作業療法学科 学生対象> 「高次脳機能障害 ～その症状と支援について～」 高次脳機能障害支援センター 支援コーディネーター 河地 睦美	33名
令和4年1月19日(水) 13:00～15:00 奈良県介護実習・普及センター 福祉住宅体験館	<介護に携わる職員、介護家族、県民対象> 令和3年度介護実践講座「高次脳機能障害者の日常生活支援」 サブテーマ「高次脳機能障害の基礎的理解と支援方法 ～高次脳機能障害を疑似体験してみよう」 高次脳機能障害支援センター 支援コーディネーター 河地 睦美	6名
令和4年2月9日(水) 13:30～15:00 奈良県行政書士会 会議室 オンライン方式(ZOOM利用)	<行政書士会奈良支部会員及び近畿圏支部対象> 「高次脳機能障害の基礎知識と制度利用」 高次脳機能障害支援センター 支援コーディネーター 河地 睦美	35名
参加者合計		74名

ウ 地域相談機能の充実

高次脳機能障害支援地域相談会開催 (高次脳機能障害当事者家族会合同企画)

開催回	開催日	開催場所	参加人数
第1回	令和3年9月26日(日)	奈良県総合リハビリテーションセンター・相談室	7名
第2回	令和3年11月21日(日)	奈良県中小企業会館 会議室	4名
参加者合計			11名

エ 高次脳機能障害支援体制の構築

高次脳機能障害者の自動車運転再開支援の検討

○回復期病院での自動車運転再開支援のアンケート調査 (奈良県内 18箇所の回復期病院)

(調査結果)	運転再開支援にかかるニーズあり	6病院
	運転再開支援事業への協力の意向あり	7病院
	研修会への参加希望あり	10病院

4 県営福祉パーク(介護実習・普及センター)の運営状況

県営福祉パークでは、高齢者や障害者を含め訪れたすべての人が、見て・触れて・体験しながら、相互理解を深め、介護を楽しく学べる場所として、公共施設モデル、多目的広場等の屋外施設や福祉住宅体験館の維持管理に努めた。

介護実習・普及センターでは、要介護者や介護者等からの各種相談に応じるとともに、介護実習を通じて介護知識・技術の普及啓発に努めた。福祉機器の展示では、近年関心の高まるICTを活用した見守り用福祉機器やコミュニケーション関連機器のコーナーを設置し、実際に手にとり試す機会を提供した。

今年度は、感染症予防等に配慮した新しい時代の情報発信拠点のあり方を模索し、福祉住宅体験館を拠点に、オンライン上でつながり祭実行委員会を開催した。

介護分野の人材不足に対する解決策の一つとして、児童・生徒・学生等を対象に、介護を身近に感じてもらう機会づくりとして、介護体験見学講座に取り組んだ。

ア 相談事業の実施状況

(単位:件、人)

区 分	件 数	相 談 者 数
令和3年度	78	108
令和2年度	664	969

イ 介護講座等の実施状況

(単位:回、人)

講 座 名	実 施 回 数	受 講 者 数
介護体験見学講座	20	842
介護普及講座	9	76
介護実践講座	10	54
福祉住宅体験館案内ボランティア育成講座	1	4
自助具製作体験講座	3	6
自助具体験講座	1	8
夏休み親子介護体験講座	中止	0
公開講座	1	15
第5回福祉機器展	中止	0
(上記のうちボランティア関係分)	(0)	(0)
第40回プレつながり祭(オンライン開催)	1	—
つながり祭実行委員会(オンライン開催)	3	—
計	49	1,005
令和2年度	46	2,300

ウ 福祉パーク・福祉住宅体験館利用状況

(単位:人)

区 分	団 体 数	利 用 者 数
個人利用者		27,765
団体見学	20	842
計	20	28,607
令和2年度	20	28,462

エ プレつながり祭(オンライン開催)

開 催 日 : 令和3年12月5日

開催内容 : 団体活動紹介、パフォーマンス発表

参加団体 : 9団体参加

オ つながり祭実行委員会(オンライン開催)

開 催 日 : 令和3年6月20日、令和4年2月11日、令和4年3月12日

開催内容 : 第40回プレつながり祭に関する諸協議

参加団体 : 学校、教育関連団体、介護・障害者団体等

5 職員の状況

○ 職員数

(単位:人)

		令和2年度 当初職員数	令和3年度 当初職員数	増減	備考
職員		55(7)	57(6)	2	
内 訳	事務部	9	10	1	
	施設部	45(7)	45(6)	0	
	福祉パーク	1	2	1	

日々雇用職員及び派遣職員を除く ()は非常勤職員数(内数)